



鴨居中だより

横須賀市立鴨居中学校

平成29年(2017年)7月20日(木) NO.5.

保護者の方と一緒に読みましょう

73日間の「見える学力!」「見えない学力!」 35日間「自分で自分の学力」をどう伸ばすか?!

7月12日(水)17時より「駅伝選手選考会」が開催され、1年生から3年生まで男女合わせて78名が参加しました。「女子は1000m」、「男子は1500m」でタイムを競い合いました。レースは、男女別3学年混合で行われました。1年生にとっては「初の挑戦」。上級生の後ろ姿を追って最後まで一生懸命に走りきりました。仲間を思いやり、一緒に走りきることを目標に並んで走ったペアもありました。上級生は、あの暑さの中でもライバルとの競い合いに手を抜くことはありませんでした。結果として「自己ベスト」を出した選手が20人以上いたことは大きな驚きでした。そして、**何よりも嬉しかったことは、参加した一人ひとりの「全員の全力を出し切る姿」を見ることができたことです。**

しかしながら、ここぞ!と言う時に「全力(自分のベスト)を出し切ることは、そんなに簡単にできることではありません。それは自分が決めた目標に向けて、自分の意思で「努力を積み重ねた取り組みがあったからこそ」、自分が納得できる全力(ベスト)」が出せるのだと思います。**「取り組み(努力)なしの結果」も、自分自身の「成長」にはつながりません。**

先週の「三者面談」で担任の先生から4月5日から73日間(学校での学びの日数)のみなさん一人ひとりの「学び」について話されたことでしょうか。

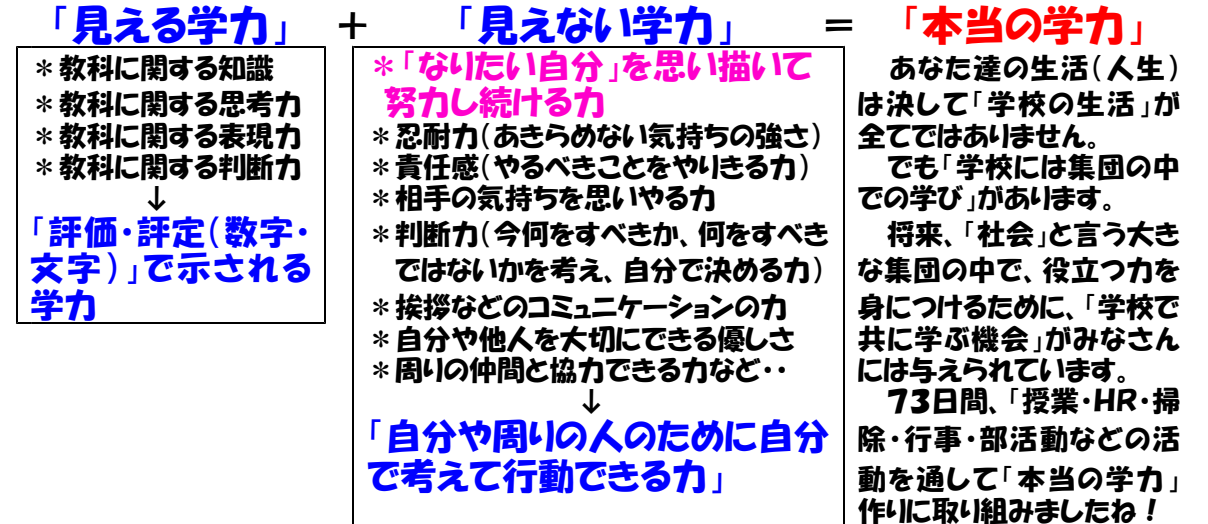
「学び」には、「9教科の教科に関する知識・理解などの学び」、テストの点数などの数字に表れるいわゆる「見える学力」と、数字(評価・評定)では表せない「見えない学力」の2つがあります。「学びの場」である学校は、この2つの学力を身につける場であり、そのための活動を73日間の中で、各学年の成長過程に応じて、日々取り組んできました。

でも、「見える学力」を伸ばすためには、「見えない学力」が身につけていなければなりません。「見えない学力」の大切な項目に、「なりたい自分を思い描く力」と「あきらめない気持ち」があります。取り組んだからといって「すぐにわかるようになったり、点数があがったりすること」はありません。我慢強く、続けていく強い気持ち(「見えない学力」)が身につけているので、「見える学力」が伸びるかが決まってきます。

1000m,1500mを走りきる力(技能=タイムなどの見える学力)は、辛い練習に耐える力(忍耐力)や、自分を伸ばしたいと思う意欲(向上心)や、悔しい思いを乗り越える精神力(強い意志)などがあってこそ身についた力だと思えます。

さあ、明日から35日間の夏休みが始まります。それは、時間割もなく、チャイムも鳴らない35日間です。そして、「自分で自分の学力」を伸ばすための貴重な時間です。「夏を制する者(夏休みを有効に使える人)は、〇〇(例えば受験)を制す(勝利する)」とよく言われています。ぜひ、一人ひとりが「自分自身の今の課題」に立ち向かう夏休みになりますように!!

**【先生たちが「育てたい力!」 = 「本当の学力」
= (社会の中で社会の一人として)生きる力)】**



【1年生の校外学習「三浦ふれあいの村」】 班・学級・学年で取り組みました!



【2年生の職場体験】 各職場に2,3人で訪問、2日間たくさんのお話を学びました!



【日々の部活動練習】 各部活「自分たちの目指す目標」に向けて努力し続けています!



**35日後の8月25日(金)、
「様々な努力で自分の学力を高めた」みなさんと
元気な挨拶でスタートできることを心から願っています!
頑張れ! 大いに期待する鴨中生!!**

